

令和7年度新潟県立図書館運営基本方針 重点目標に係る取組状況

基本方針1 地域社会への貢献

・ 定量評価（A=100%以上 B=90～100% C=80～90% D=70～80% E=70%未満）

・ 総合評価（A＝成果を上げている、B＝順調に進んでいる、C＝概ね順調に進んでいる、D＝順調に進んでいるとはいえない、E＝事業の見直しが必要）

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	・ 県各部署への周知 ・ 展示の実施	県立図書館を利用した所属数	34所属	○ ギャラリー展示は一般県民の利用とのバランスも図りながら、行政連携の充実に向けて引き続き各部署等へのPRに取り組んだ。 ＜実績＞ 7月 土木部道路建設課（にいがた『道』フォトコンテスト実行委員会）「にいがた『道』フォトコンテスト入賞作品展」 10月 環境局資源循環推進課「『食品ロス』削減に向けたパネル展」 11月 農林水産部林政課「にいがたフォレストリーマガジン写真展」 12月 環境局資源循環推進課「『海洋プラスチックごみ』削減に向けたパネル展」	31所属 内訳： ・ ギャラリー展示4所属 （前年度実績5所属 対前年度比80%） ・ 図書コーナー設置17所属 （前年度実績13所属 対前年度比131%） ・ 図書貸出10所属 （前年度実績16所属 対前年度比63%） ※重複除く	達成率91% 評価B	○ 県職員ポータルサイトで呼びかけるなど行政連携展示のPRに努めて目標達成を目指したが、希望する展示期間が重複した所属があり目標は達成できなかった。 ○ 次年度も、行政連携展示のPRに努めつつ、ギャラリー展示と関連するテーマ展示を連携して実施するなどして、県行政に係る情報発信の充実を図る。	十分に組みこんでいただいていると思うが、時事問題に関連した資料の紹介や展示などを、タイムリーに行っていただくとなお良いのではないか。 評価では所属部署の重複は除いているが、同じ部署から複数回の利用があった場合も評価指標に含めることも検討していただきたい。
	県の重点施策と関連した図書コーナーの設置	・ 県各部署への周知 ・ 展示の実施			○ 県施策に関する図書のPR展示について、県職員ポータルサイトで利用の呼びかけを行った。申込があった所属に対しては展示に関する要望を聞き取って展示に反映させた他、展示後はその様子を撮影した写真や利用状況を共有することで、展示の効果を感じてもらえるよう取り組んだ。 ＜実績・予定＞ 4月 新潟県発達障がい者支援センターRISE、県立近代美術館、県立万代島美術館、政策企画課 5月 県立植物園、県立歴史博物館 6月 生活衛生課 7月 県立近代美術館 8月 県立万代島美術館、県立歴史博物館 9月 高齢福祉保健課、新潟県消費生活センター、障害福祉課 10月 県立近代美術館、健康づくり支援課、新潟県労働委員会、県立歴史博物館 11月 健康づくり支援課、林政課 12月 危機対策課、空港課 1月 南魚沼地域振興局、福祉保健総務課援護恩給室、健康づくり支援課 2月 県精神保健センター、新潟県消費生活センター 3月 障害福祉課、健康づくり支援課			○ 県職員ポータルサイトで呼びかけにより、半年先の予約も入るなど多くの所属が利用している。「〇〇月間」に合せて定期的に活用する所属があるほか、過去に利用した担当者が異動先の部署の施策で依頼するなど、利用が広がってきている。利用先の担当者からは「実施して良かった」とのコメントも寄せられている。 ○ 上半期に（独）国立造幣局から当館に寄贈された岡田紅陽のコンテ画（旧千円札「富士山」複製）公開にあわせ、関連展示を実施した。 ○ 下半期の「旧優生保護法補償制度」関連展示を紹介したSNSの投稿に対し「継続すべき取組」とのリポストもあるなど、展示に関心を持ってもらっていることがうかがえた。 ○ 今後も県の行政施策への県民の理解を深められるよう、幅広い部局と連携していく。	十分に組みこんでいただいていると思うが、時事問題に関連した資料の紹介や展示などを、タイムリーに行っていただくとなお良いのではないか。（再掲） 評価では所属部署の重複は除いているが、同じ部署から複数回の利用があった場合も評価指標に含めることも検討していただきたい。（再掲）
	県所属への図書貸出の実施	・ 県庁貸出の手続改善 ・ 県各部署への周知			○ 県職員ポータルサイトで利用の呼びかけを行った。			○ 昨年度から継続してサービスのPRに努めたが、定期的に利用する部署や異動先でも継続して活用する職員がいる一方、新規の所属を増やすことができなかったため、目標を達成できなかった。次年度以降はPRの回数を増やすなど、更なる周知を図っていく。 ○ 利用にあたって各職員が資料を検索・特定して申込みが必要があり、この手間も利用につながらなかった一因と考えられるため、次年度以降はレファレンス相談から資料の利用につながるような取組も検討していく。 ○ 上記と併せて、所属のニーズを掴む手段を検討していく。また、県職員ポータルでの呼びかけ以外にも、サービスを利用したくなる効果的なPR方法を模索していく。	県庁貸出については、県職員が特定資料を検索して手続きをしなければならず、手間が多いので、自己評価にも記述があるようにレファレンス相談から相談内容に該当する資料を複数冊提示して貸出すなどの方策を検討していただきたい。 評価では所属部署の重複は除いているが、同じ部署から複数回の利用があった場合も評価指標に含めることも検討していただきたい。（再掲）

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	協議会意見
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集と活用	・出版情報の多角的な把握 ・積極的収集と展示 ・書庫等の保存環境の整備 ・行政資料の収集・展示			○ 出版情報の収集から資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んでいる。また、今年度は特に、現在活躍中の新潟県出身作家による文芸作品のうち当館未所蔵のものを選って調べ、入手可能なものを積極的に購入した。 ○ 毎月テーマを設定して閲覧室内で行っている資料展示について、郷土との関わりが深く、かつ親しみやすい内容とするとともに、他機関が主催するイベントとの連携展示も率先して実施した。 ＜実績・予定＞ 4月 新潟春の花めぐり 5月 北前船の世界 6月 新潟県の近代医学 7月 新潟県の米 8月 【連携】県立歴史博物館「戦後80年 私の戦争体験記―銃後の日々―」展 9月 2025年は昭和100年 新潟県の昭和 10月 【連携】県立歴史博物館「飴(あめ)・糖(あめ)・あめ」展 12月 没後70年坂口安吾展 1月 現在活躍中の新潟の作家たち 2月 新潟県の酒、【連携】県立文書館主催講演会「上杉謙信とその生涯」			○ 利用者の関心が高い、現在活躍中の県内出身作家の未所蔵作品を積極的に収集し資料展示を行った結果、郷土資料の貸出冊数は文学を中心に昨年同期比で増加した。今後他機関主催イベントとの連携展示や、利用者の関心が高いテーマを中心としながら多岐にわたる資料展示を行い、郷土資料のPRに努める。 ○ 引き続き出版情報を収集し、郷土資料の幅広い入手に努め、充実を図っていく。	
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	・デジタル資料の追加 ・利用環境の整備 ・利用者へのPR	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	23,750件	○ デジタルライブラリーのトップ画面でデジタル化資料を様々な切り口で紹介してPRに努めるとともに、更新の都度、ホームページや当館SNS、県庁ポータルサイトで情報発信を行った。 ＜実績・予定＞ 4月 明治記念新潟県立図書館 ※新潟県立図書館110周年関連 6月 鳥瞰図 8月 幕末維新の長岡三傑 10月 越後の妖怪 ※新潟県立近代美術館主催「オバケ？」展関連 12月 縁起物 ○ 毎年1月に開催しているギャラリー展示「新春掛軸展」で、一部の作品は越後佐渡デジタルライブラリーで閲覧可能である旨をホームページや会場に掲示した展示作品のリストに追記し、利用促進を図った。	22,733件 (前年度実績22,783件 対前年度比99.8%)	達成率96% 評価B	○ 県立図書館のトップページからアクセスすると検索画面が表示され、デジタルライブラリーのトップ画面へのアクセスが2段階となるホームページの仕様上の課題がある。一方でSNSのスレッド機能を活用した投稿を行うなど、関心を寄せてもらえる工夫を凝らした結果、小幅ではあるがアクセス件数は昨年度と比較し増加し、目標を概ね達成した。 ○ 次年度もデジタル化資料の魅力の発信に努めて、目標達成に向けて取り組んでいく。	越後佐渡デジタルライブラリーおよび郷土人物雑誌記事索引のアクセス数もSNS発信の工夫などの成果もあり増加している点は評価できる。
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	・データの登録 ・県民へのPR	郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス件数	12,800件	○ ニーズの掘り起こしを目指して、郷土人物/雑誌記事索引データベースのトップ画面に、当データベースを活用した調べ方を紹介しているレファレンス協同データベースへのリンクを作成し、その利便性をPRしている。今年度は、リンクを2件追加した。 ○ 今年度もページの更新に加え、データベースに収録するタイトルを追加するなどデータベースの充実に取り組んだ。また更新時にはホームページや当館SNSで情報発信を行い、利用促進を図った。	12,039件 (前年度実績12,669件 対前年度比95%)	達成率94% 評価B	○ データ更新時に当館ホームページやSNS等で積極的に情報を発信した結果、昨年度と比較してアクセス件数が増加し、目標達成につながった。 ○ データベースの利点について、活用事例等を通じて今後も周知するとともに、より充実したものとなるよう、引き続きデータベースに収録するタイトルの拡大にも取り組んでいく。	越後佐渡デジタルライブラリーおよび郷土人物雑誌記事索引のアクセス数もSNS発信の工夫などの成果もあり増加している点は評価できる。（再掲）